

最上川下流左岸地区 毒蛇排水機場の円滑な運用に向けて

1. 毒蛇排水機場の概要

旧機場は昭和 45 年に県営かんがい排水事業で築造され農業経営の安定に寄与してきましたが、施設の老朽化や近年の集中豪雨等に対応するため、排水能力の増強を伴う新機場の整備により湛水被害と維持管理労力の軽減を図ります。

項 目	旧毒蛇排水機場	新毒蛇排水機場
完 成 年	昭和 45 年 3 月	令和 4 年 6 月
排 水 量	9.33 m ³ /s	12.90 m ³ /s (約 1.4 倍)
排 水 機	横軸軸流 φ1200×3 台	横軸斜流 φ1200×4 台
発 動 機	ディーゼルエンジン 150ps×3 台	ディーゼルエンジン 226kw×4 台
ポンプ設備 写真		

2. 本格稼働に向けた最上川土地改良区への運転操作説明会等

令和 5 年 4 月の本格稼働に向け、令和 4 年 9 月 7～8 日に施設を管理する最上川土地改良区協力のもと総合試運転調整を実施するとともに、9 日に改良区への運転操作説明会を行いました。

また、令和 4 年 11 月 16 日にはポンプメーカーに協力いただき、①真空ポンプへの水張り、②盤・スイッチの操作、③運転休止時の維持管理方法、④エンジン・発電機の管理運転方法、⑤水抜きといった一連の操作手順に係る説明会を行いました。



3. 最上川土地改良区との管理使用協定締結

令和 5 年 4 月から本格稼働させる中央排水機場についても、令和 5 年 2 月に毒蛇排水機場と同様の運転操作説明会を行う予定です。

また、2 機場の本格稼働に際し、年度内に管理使用協定を締結できるよう関係資料の整理、最上川土地改良区（施設管理者）との調整を行いますので、関係部局におかれましては一層のご指導をお願いいたします。